



# IXIL ステージ 保水タイルタイプ 取付け説明書

## ■取付けされる方へのお願い

- この説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。
- 説明書を必ずお施主様へお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲警告** …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲警告

- 「ステージ」表面から手すりまでの高さが1100mm以下の場合には絶対に施工しないでください、転落のおそれがあります。

## ▲注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

- みだりに改造、変更をしないでください。
- 組立てねじ・ボルトは必ず当社指定のものを指定の本数使用してください。また、使用中ゆるまないように締付けてください。
- 施工の際は、保護具を着用し、施工手順の通りに施工してください。指つめ・手指の切り傷・はさみ込み・切り粉による目の負傷のおそれがあります。
- 施工後は残材が残っていると、排水溝につまったり、防水層をいためたりしますので、必ず残材の整理・清掃を行ってください。
- 風による影響を受けやすい場所での使用は、風圧により「ステージ」が飛散するおそれがありますので、下表にしたがい施工してください。

### 〈戸建て住宅〉

階数	手すり形状	床面積	施工
1階	—	—	○
2、3階	腰壁	—	○
	格子・パネル	50㎡以下	△
		50㎡を超える	×
屋上	腰壁	—	○
	格子・パネル	50㎡以下	△
		50㎡を超える	×

○には端部カバー材なしで施工できます。

△には端部カバー材を使用してください。

※モルタルおよびコンクリート以外の床面への端部カバー材は使用できません。

### 〈高層住宅(マンションなど)〉

階数	手すり形状	床面積	施工
1～3階	腰壁	—	○
	格子・パネル	—	○
4～10階	格子・パネル	腰壁	○
		50㎡以下	△
		50㎡を超える	×
11～15階	格子・パネル	腰壁	○
		50㎡以下	△
		50㎡を超える	×
16階～	—	—	×

- 階段への避難口、避難ハッチの上には施工しないでください。避難口、避難ハッチなどが使用できなくなるおそれがあります。
- 施工前には下地床面のゴミや砂を十分取り除いてください。防水層をキズつけ、雨漏れの原因になります。

## ▲ 注 意

- 「端部カバー材」はコンクリート・モルタル床面専用部材です。それ以外の床面には絶対に使用しないでください。  
床面の防水層が塩ビシート・ウレタン・FRPなどの樹脂系の場合、ブチルゴムによって侵され、防水、防水機能を損なうおそれがあります。
- 本製品を切断する際はコンパネなどを敷き、床面にキズがつかないように作業してください。バルコニー床面をキズつけますと漏水の原因となるおそれがあります。
- 防水面をキズつけたり破損した場合には、必ず施工された工務店・住宅会社・防水処理業者に連絡して補修してください。
- 弊社のテラス囲い、風除室、サンルームの土間納まりに施工する場合は、必ず排水口を設けてください。水洗い時に排水できなくなります。

## ■取付け上のお願い

- 駐車場、ガレージ・駐輪場など、自動車・オートバイ・自転車・重量のある台車などの通る場所に使用すると割れたり、変形しますので使用しないでください。
- 本製品は堅い床下地の上に使用し、砂・土の上や極端に不陸の大きな場所には使用しないでください。連結強度低下の原因となります。
- タイルを連結する際は、ハンマーで叩くと割れることがあります。
- タイルの上に物を落とさないでください。衝撃でわれる原因になります。
- タイル部分の切断はお控えください。タイルが割れるおそれがあります。
- 組立て・施工は専門業者が行ってください。
- 製品の施工については、必ず取付け説明書にしたがってください。
- 水平・垂直は水準器などで正確に出してください。
- 当社指定の付属品以外は取付けしないでください。
- 施工プランと必要部材がそろっているか確認してください。
- 「ステージア」のブロックを連結する際には、必ずすき間を5mm以下にしてください。
- 当社標準品以外の使用および標準施工以外の施工に関しては、保証いたしません。
- 樹脂部が変形するおそれがありますので、本製品を連結した状態で引っ張らないでください。

## ■お施主様へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** ……取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲注意

- 本製品の上では、必ず履き物を着用してください。
  - ・夏場は表面が高温になるため、素足で歩行するとやけどをするおそれがあります。
  - ・タイル表面の凹凸で切傷するおそれがあります。
- 汚れにより吸水しにくくなると、雨上がりや散水後に表面が濡れて滑りやすくなりますので、歩行には十分ご注意ください。
- タイルが割れた場合には、すみやかに掃除してください。
  - ・タイル破損により、足などを切るおそれがあります。
  - ・防水層を傷めることで、漏水の原因となるおそれがあります。
- 水を吸収し、保持する機能を持つため、温度が極端に低い地域では水が凍結すると割れる原因になります。

## ■取扱い上のお願い

- 温泉水や汚濁した水を打ち水で利用すると、汚れや臭い、変色、すべりなどの原因になることがあります。
- 本製品の上で、物を燃やしたり加熱したりしないでください。燃えたり変形したするおそれがありますので、絶対にしないでください。
- 本製品に灯油・ガソリン・有機溶剤などが付着した場合に、放置すると変色のおそれがありますので、大量の水で洗い流してください。
- 本製品の上に物を落とさないようにしてください。衝撃でタイルが割れるおそれがあります。
- 樹脂部が変形するおそれがありますので、本製品を連結した状態で引っ張らないでください。
- 水が吸水しづらいときは、たわしまたはデッキブラシでタイル表面を水で洗ってください。
- 保水タイルタイプの特性とお手入れについてもご覧ください。

## ■ステージア(保水タイルタイプ)の特性とお手入れについて

### 【ステージア(保水タイルタイプ)の特性】

- 本製品に使用されているタイルは細かな穴を持つことで水を吸収し保持する機能を持ちますが、タイル表面に細かな凹凸があるため、汚れやすい性質を持ちますので、こまめなお手入れが必要です。
- ・水を吸収し保持する機能をもつため、排水溝付近、植木鉢周辺、室外機の排水部など、湿った状態が長時間続く場所では、カビ・コケなどが発生することがあります。
- ・汚れ、カビ・コケなどが水を吸収する穴を塞ぐと、機能が低下しますので、下記のお手入れ方法にしたがって清掃してください。

### 【ステージア(保水タイルタイプ)のお手入れ】

- 1.通常のお手入れ(汚れがこびりつくと除去しにくくなりますので、1週間に1度を目安にお手入れしてください。)
  - ・製品表面についたゴミ・ホコリ・土汚れはホウキなどで取り除いてください。
  - ・こびりついた汚れは、タワシ、又はデッキブラシを使って水荒いしてください。
  - ・それでも落ちない場合は中性洗剤をタワシやデッキブラシに含ませ汚れを落としてください。なお、製品表面および下地に洗剤が残らないよう、最後に水で十分に洗い流してください。
- 2.がんこな汚れは、中性洗剤でつけ置き洗いを行ってください。(下記のつけ置き洗いの方法をご参照ください。)
- 3.カビ・コケが発生した場合のお手入れ
  - ・カビ・コケが発生した場合は、次亜塩素酸系洗剤(推奨：カビ取り用漂白剤)でつけ置き洗いを行ってください。

### 【つけ置き洗いの方法】

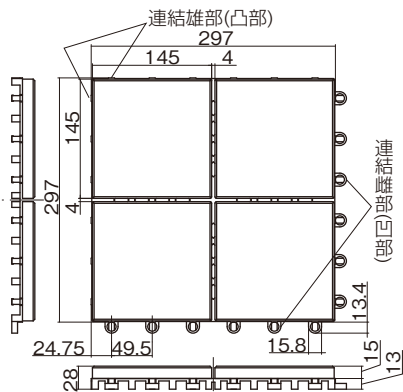
- ①製品表面のゴミ、ホコリ、土汚れを取り除きます。
  - ②がんこな汚れ、カビ、コケが発生した製品を取外します。(そのままつけ置き洗いをすると、防水層をいためるおそれがあります。)
  - ③水洗いし、表面を濡らした状態にします。
  - ④製品を桶やタライなどに入れ、汚れを落としたい部分に洗剤を塗布し、20～30分間放置してください。
  - ⑤20～30分放置後、タワシ、またはデッキブラシで水洗いしてください。それでも落ちない場合は高圧洗浄機をお使いください。
  - ⑥最後に表面に洗剤が残らないよう、水で十分に洗い流してください。
  - ⑦洗った製品を元の場所に戻します。連結を確実に行ってください。
- ※洗剤、高圧洗浄機の使用にあたってはそれぞれの「使用上のご注意」をよくお読みください。  
※中性洗剤、次亜塩素酸系洗剤以外の洗剤は使用しないでください。

## 製品概要

### 梱包明細表

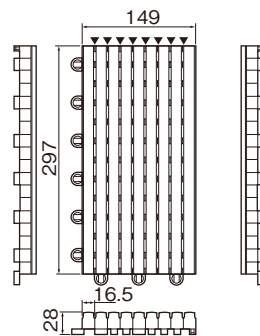
名称	略図	員数	名称	略図	員数
ステージア本体 保水タイル		9	スロープ材 A1連結有		10
ステージア 幅調整材 有り		20	スロープ材 A2連結無		10
ステージア 幅調整材 無し		20	スロープ材 コーナー		10

### ■本体(▼は部材切断位置)

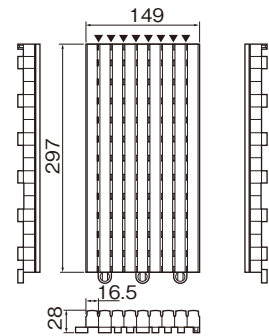


### ■幅調整材(▼は部材切断位置)

#### A1連結有

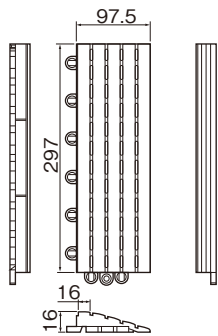


#### A2連結無

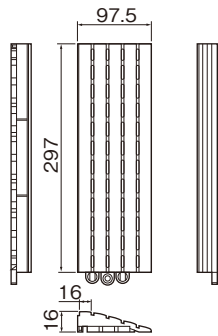


### ■スロープ材

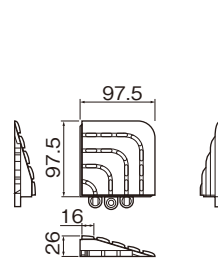
#### A1連結有



#### A2連結無



#### コーナー

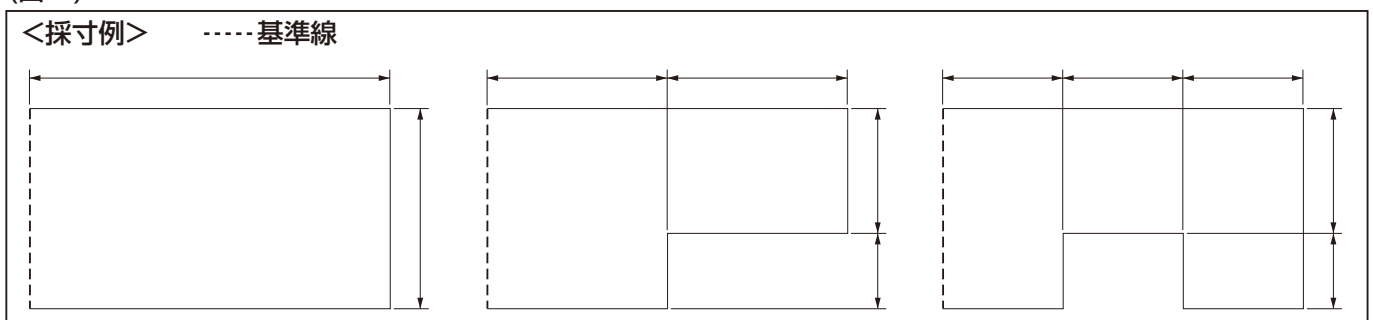


## ■施工順序

### ■敷設面の採寸

①割り付けをしやすくするために(図-1)を参考に基準線を設定し、採寸してください。

#### (図-1)

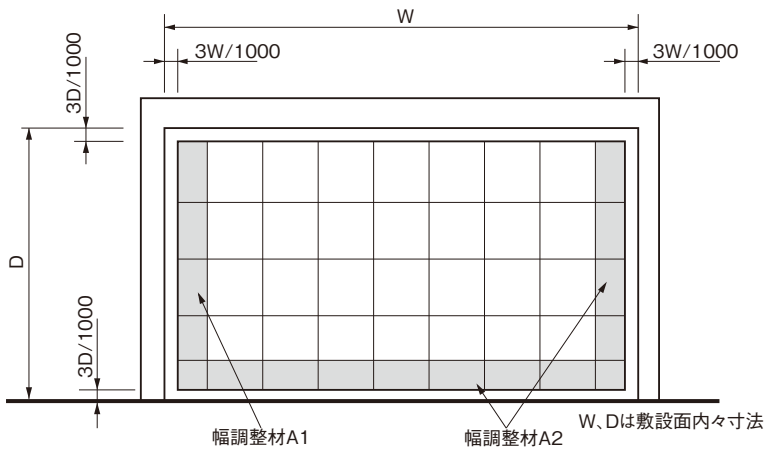


②雨戸袋、樋落し口、柱、排水溝などの障害物について、位置の確認と寸法測定を行ってください。  
※テラス囲い(土間納まり)に施工する場合は、排水口を必ず設けてください。

## 2 割り付け

①下図に従い必要枚数を決定してください。

### ●造り付けバルコニー、テラス囲い、風除室、サンルーム



#### ◎本体

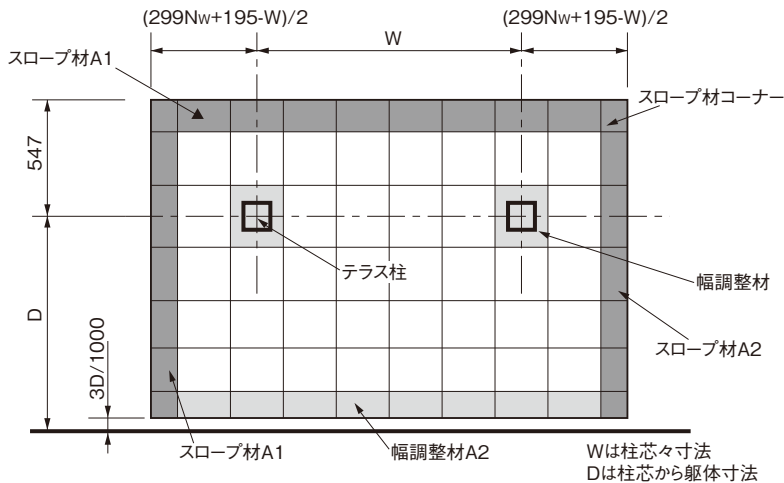
- ・間口方向必要枚数  $N_w = (W - 3W/500) / 299$
- ・出幅方向必要枚数  $N_D = (D - 3D/500) / 299$
- (小数点以下は切捨て。整数の場合は幅調整材不要)
- 総必要枚数  $N = N_w \times N_D$

#### ◎幅調整材

- ・A1連結有  $n_1 = N_D + 1$
- ・A2連結無  $n_2 = N_w + N_D + 1$

※造り付けバルコニーで排水溝がある場合は、W、D寸法から排水溝の幅を差し引いてください。

### ●テラス土間納まり



#### ◎本体

- ・間口方向必要枚数  $N_w = W / 299 + 3$
- ※関西間1.5間、2.5間、九州四国間1.0~2.0間、3.0~4.0間は  $N_w = W / 299 + 2$

- ・出幅方向必要枚数  $N_D = D / 299 + 2$
- 総必要枚数  $N = N_w \times N_D - P$  (P:柱本数)

#### ◎幅調整材

- ・A1連結有  $n_1 = 2 \times P$
- ・A2連結無  $n_2 = N_w$

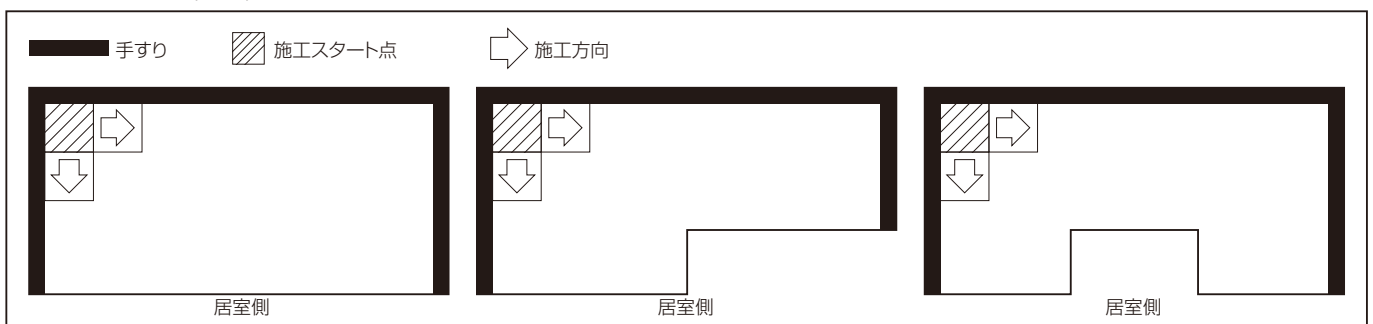
#### ◎スロープ材

- ・A1連結有  $n_{s1} = N_w + N_D + 1$
- ・A2連結無  $n_{s2} = N_D + 1$
- ・コーナー  $N_{sc} = 2$

②300mm角以下の部分や障害物のある部分には、幅調整材や『ステージ』本体の切断などにより納まりの調整をしてください。

## 3 基準点の設定

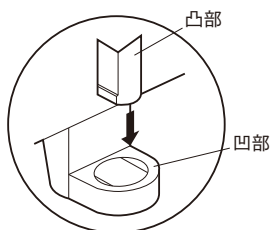
①施工スタート点(基準)を決め施工を始めます。



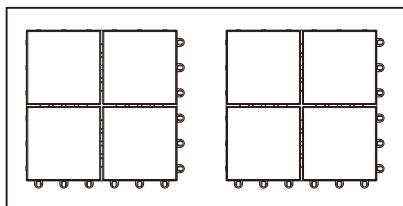
#### 4 連結方法

①連結は雄部(凸部)と雌部(凹部)を同一方向に並べ、雄部に雌部を重ね合わせて、下方方向に『パッチン』と音がするまで押し込んでください。

##### ■連結の仕方

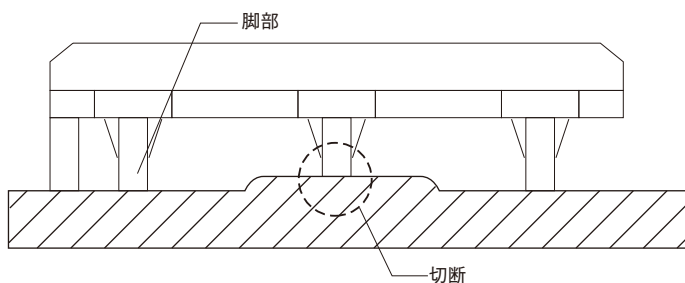


##### ■同一方向に並べて連結



#### ■不陸調整

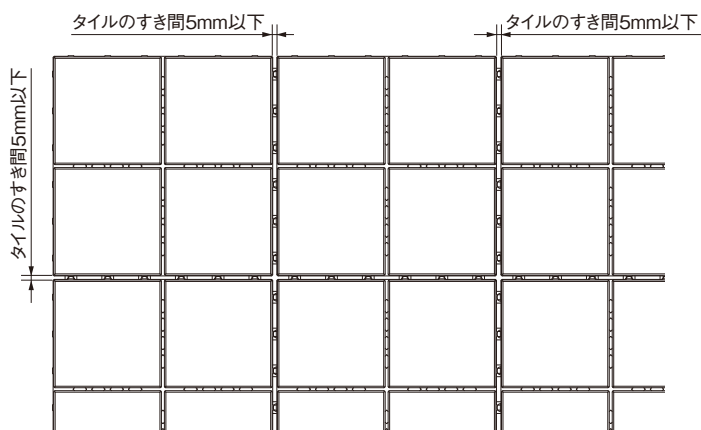
『ステージ』裏面の脚をプランナーなどにより切断することにより、3mmまでの敷設面の凸部に対応できます。凹みがある場合には、穴埋めなどを行い平らにしてください。切断にはメリー社製『ダクトプランナー』DK-55 250m/m用などが便利です。



#### 5 すき間の調整

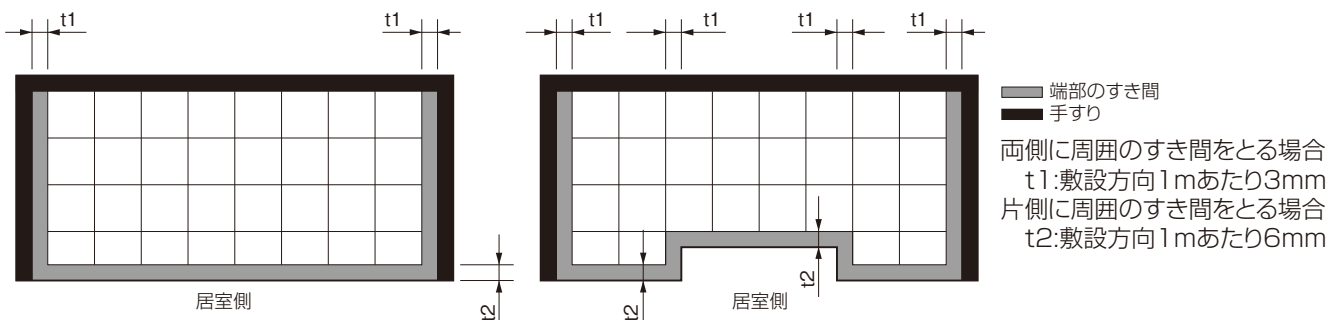
①タイルのすき間が5mm以下になるように施工してください。

(図-3)



②敷設面の端部まで敷き詰めたら(図-4)のように大きめのすき間を開けてください。

(図-4)



## 6 端部・障害物の納まり調整

### ①幅調整材の切断

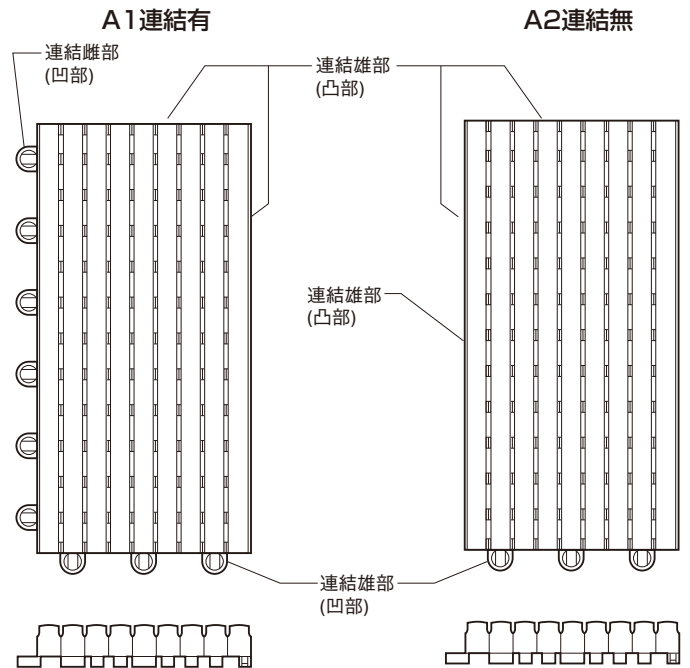
幅調整材は溝に沿って16.5mm幅で容易に切断できます。  
納まりに合わせて切断してください。

※雨樋などの突起物がある場合は、幅調整材を切り欠いて対応してください。

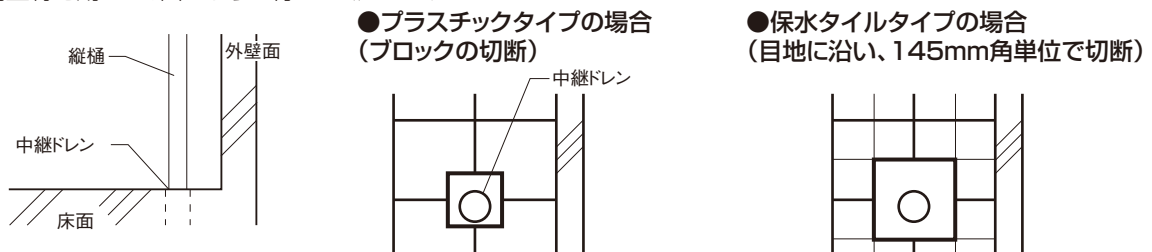
### ②本体の切断

納まりに合わせて部材の切断が必要な場合は、下表に従ってください。

種類	切断単位	切断単位
プラスチック	任意	ノコギリまたはジグソーで切断
保水タイルタイプ	145×145mm	目地に沿い、ノコギリまたはカッターで切断
幅調整材	短手方向 16.5mm	ノコギリまたはジグソーで切断
	長手方向 任意	ノコギリまたはジグソーで切断



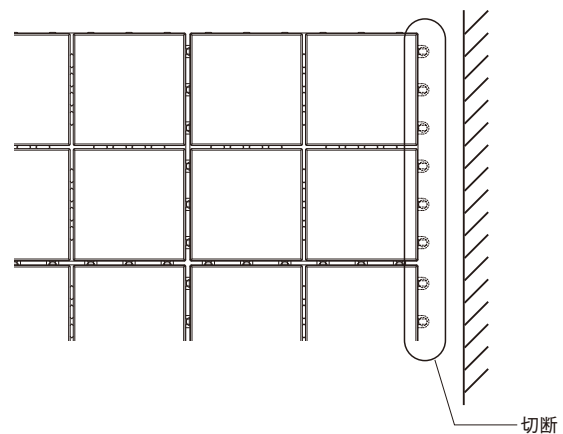
※柱あるいは中継ドレンなどの障害物がある場合の納まりはブロックを切断するか、幅調整材を用いて、図のように行ってください。



### ③連結部の処理

端部に『ステーシア』の連結雌部(凹部)がきた時は、雌部を切断してください。

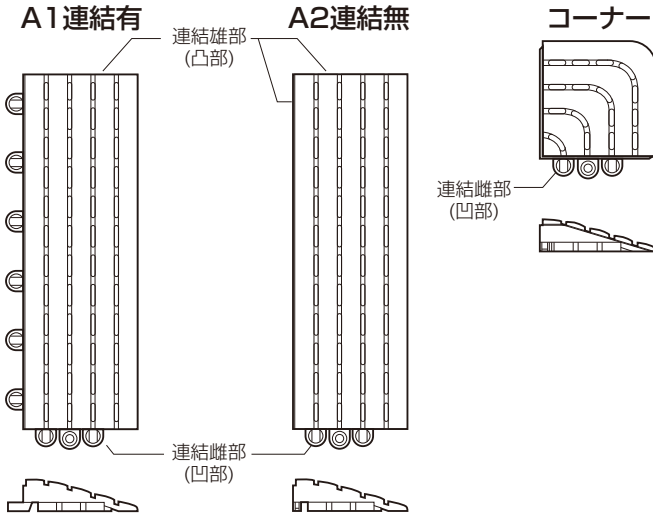
納まりが美しく見えます。



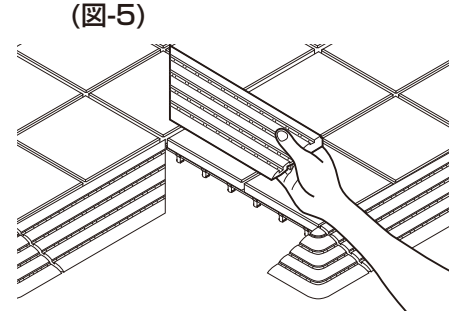


## ■スロープ材

- 『スロープ材』はすべてのブロックと連結でき、ブロックの端部の段差を小さくし、歩きやすくするための部材です。
- 『連結有』『連結無』『コーナー(出隅)』の3種類があります。必要に応じて使用してください。

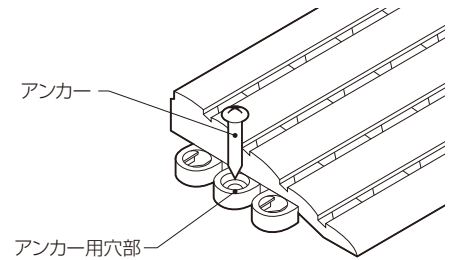


- ①『ステージア』ブロックを敷設した後、ブロックの周囲を時計周りに敷設を進めてください。  
※出隅には『コーナー』をご使用ください。  
入隅は(図-5)の様にリブに沿って45°角に切断した2部材を突き合わせて仕上げてください。



## ■アンカーによる固定

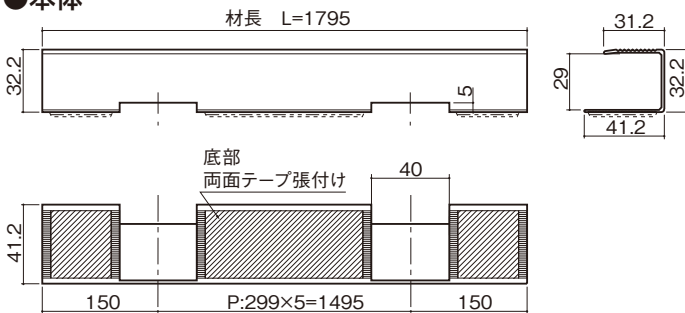
- 『スロープ材』は歩行などによる『ステージア』の位置ずれを防ぐために、アンカーで固定できます。必要に応じて使用してください。
- ①アンカーを打ち込む前に必ず下地の確認を行ってください。バルコニー・屋上など、防水材が使用されている場所では漏水の原因となりますので、アンカーの打ち込みは行わないでください。
- ②アンカーボルト及び工具を準備してください。  
Φ4アンカーボルト(現場手配)  
振動ドリル(下穴加工用)  
電動ドリル(アンカー打ち込み用)
- ③固定と連結を交互に繰り返しながら敷設してください。



## ■端部カバー材

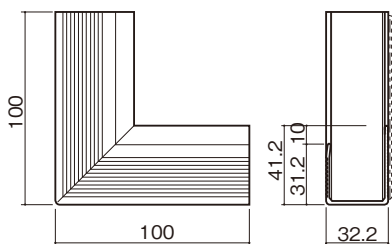
### ■製品概要

#### ●本体

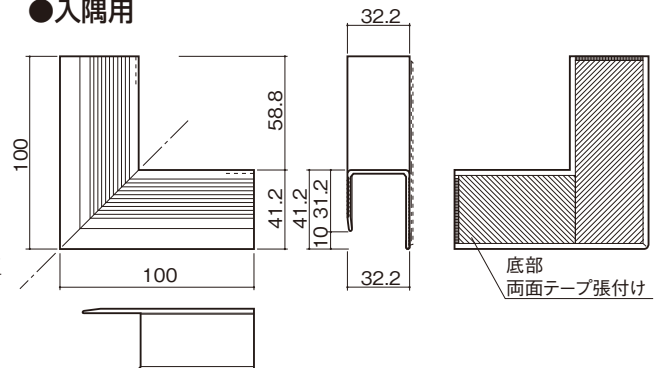


- 『端部カバー材』は『ステージア』の端部を固定し、風によるバタツキを防止する部材です。
- マンションなどの風の吹き込みのあるバルコニーにご使用ください。
- コンクリート・モルタル以外の床面には施工しないでください。  
※床面と端部カバー材を固定する両面粘着テープの粘着力低下の原因となりますので、施工前には必ず床面のほこり、汚れ、水分などを完全に除去してください。

#### ●出隅用



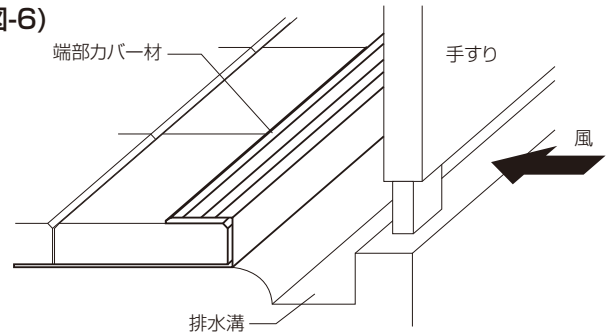
#### ●入隅用



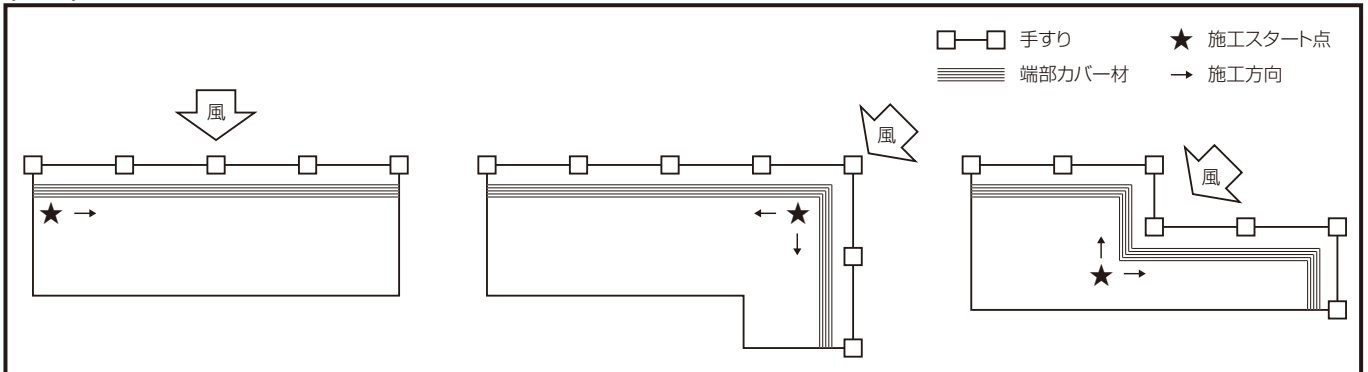
## ■施工位置合わせとスタート位置の決定

- ①(図-6)(図-7)のように風の吹き込みが考えられる位置に施工します。
- ②位置合わせのため、前もって床面に『端部カバー材』を仮敷設(テープ剥離紙をはがさないで)し、寸法調整を行います。
- ③施工スタート点を定め、矢印の方向へ施工を行います。
- ④本部材はアルミ材ですので、ジグソー、金切り鋸などで切断し、寸法を調整してください。

(図-6)



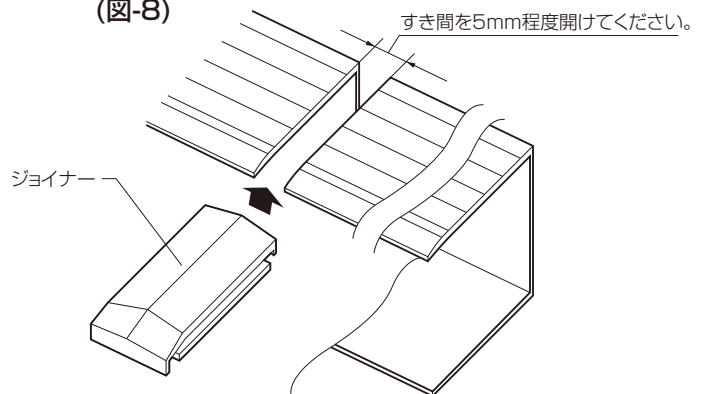
(図-7)



## ■端部カバー材の固定

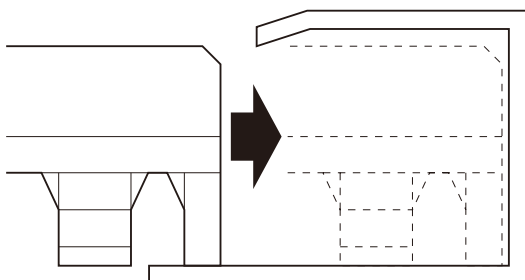
- ①裏面のテープ剥離紙をはがし、押さえつけて床面と固定します。
- ※『端部カバー材』同士の間にはジョイナー挿入のため5mm程度のすき間を開けてください。(図-8)
- ※気温が5℃以下での施工の場合は、テープ面をドライヤーなどで温めてから固定してください。
- ②付属のジョイナーをすき間にはめ込みます。

(図-8)



## ■ステージアブロックの敷設

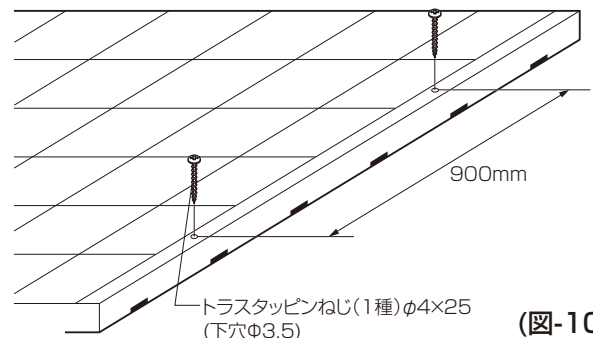
- ①『端部カバー材』を固定し終わったら『ステージア』ブロックを1列連結し、連結したブロックを(図-9)のように端部カバー材の奥まで挿入します。
- ②挿入する側にブロックの連結雌部(凹部)がある場合、連結部を切断し、挿入してください。
- ③ブロックの敷設は本取付け説明書表面の[施工順序]に従ってください。



(図-9)

## ■ステージアブロックの固定

- ①『ステージア』ブロックが端部カバー材から抜けないように、付属のビスで固定してください。(図-10)
- ※『プラスチック』『幅調整材』は目地以外の表面に固定し、『タイル』は本体内の目地間で固定してください。
- ②出隅・入隅は端部カバー材『本体』を45°でカットし、突き合わせすることで仕上がりますが、『出隅用』『入隅用』を用いると美しく仕上がります。



(図-10)

●当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。  
個人情報の取扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

# MEMO

---